

行政サービスセンターは土・日曜日も業務を行っています

取扱業務	内 容
証明書の交付	戸籍の全部事項証明書(謄本) 戸籍の個人事項証明書(抄本) 住民票 住民票の記載事項証明書 戸籍の附票 身分証明書 転出証明書 印鑑登録証明書 外国人登録原票記載事項証明書
住民異動届の受付	転入届 転出届 転居届
印鑑関係	印鑑登録申請 印鑑手帳の再交付
市税に関する個人の証明	所得証明書 資産証明書 納税証明書

なお、戸籍の電算化により、本庁が閉庁日には一部の戸籍については受け付けのみで交付はできませんのでご注意ください。

土・日曜日に各種証明書が必要な場合や異動の届け出などをする場合には、鳥取駅構内の行政サービスセンターをご利用ください。

開所時間 = 午前8時30分～午後5時

定休日 = 毎週水曜日(水曜日が祝日と重なる場合はその翌日も休みます)

祝日 12月31日～1月5日 5月4日

問い合わせ先 = 行政サービスセンター
(20 3212)

ゲーテタワー！ リンクです

ドイツの話 最終回

鳥取市国際交流員
ビルギット・リンクさん



日本とドイツの教育制度はとても異なっています。ドイツでは日本と同じように6歳から学校教育が始まり、小学校に4年間、中学校に5年間か6年間、高校に3年間通います。日本と違うのは、ドイツの学校は昼食がなく半日で終わることです。長くても学校は午後1時に終わり、生徒たちは家に帰り昼食を食べて(ドイツでは、共働き家庭が増えており、前の晩準備されていた簡単な昼食になることが多いのですが...)から宿題をやりませう。その後はよくスポーツクラブに通ったり、友達に会ったりします。

ドイツの小学校は日本と同じように基礎教科があり、ドイツ語、数学、体育、芸術(音楽、美術)、宗教などがそれぞれです。学年は9月から8月までで2学期に分かれています。

ドイツの中学校というのは、一つの種類だけではなく、「基幹学校」、「実科学校」それと「ギムナジウム」という三つの異なった学校に分けられています(三分岐型学校制度)。それぞれの学校はレベルが違って、小学

校の成績によってどの学校に進むか決定されます。一方で、こうした早期選別には批判もあります。ドイツのある州では中学校の最初の2年間がオリエンテーション段階と呼ばれる観察段階になっていて、中学2年の終了時にそれぞれの生徒の能力や適性や希望や、先生と保護者の意見も含めて、進学する学校が決定されます。もちろん、学校に進学した後でも成績がよければ学校を変えることはそんなに珍しいことではありません。

ドイツの義務教育期間は9年で、中学校に相当する基幹学校は5年制、実科学校は6年制です。義務教育を終えてから就職する生徒も多くいます。義務教育のあとのギムナジウムは9年制で、伝統的な大学進学コースです。しかし、大学進学率は約3割でドイツの就職訓練学校や専門学校などに進学する

ちょっとびっくり?!ドイツの教育

ドイツの昔からある「マイスター制度」により、それぞれの就職資格を取ることでもできます。なお、ドイツの教育施設はほとんど公立であり、授業料が大学に至るまですべて無料となっているのも特徴です。

高校卒業の時には生徒たちはもう19歳になっていますが、別にすぐ大学に進学することは必要ではありません。ドイツでは兵役義務があり、若い男の人はず1年間軍隊に入るか、病院や老人ホームなどで民間勤務をします。また、1年間外国でボランティアとして働いたり、大学に行く前に3年間就職訓練を受けたりする人も多くいます。

このように、ドイツでは日本に比べて多様な教育のシステムが準備されていると言えるのではないのでしょうか。(1年間、ご愛読ありがとうございました)